

PREPARATION-AOI.

02

🐾 JIBAKU-SYSTEM 2008.12.30

- APOLOGIZE FOR THE DEADLINE BECAUSE IT WAS BROKEN.
- 「AOI」 WILL BE COMPLETED IN LATE MARCH.



PREPARATION-AOI.

02

◆ JIBAKU-SYSTEM 2008.12.30

■ APOLOGIZE FOR THE DEADLINE BECAUSE IT WAS BROKEN.
■ 'AOI' WILL BE COMPLETED IN LATE MARCH.

18禁
R-15



アナルに指を突っ込んでるのは精子と一緒に
ウンコが出てこないように栓をしています。
●C ('V') (アナルキック)

■まえがき■

こんにちはお久しぶりはじめまして～の
stoner63 system っていういなーと思っている涼樹天晴です。

当初予定していた「M.I.N.A.M.O.T.O」が今回でなくてすみません
とりあえず「A.O.I式」を先に作る予定です。
葵が描きたくなくて…ごめん計画性無くて…(つゝ)orz

受ければですが春のイベントくらいでどちらか出す予定、多分葵本だけだ(=ω=)
出たらよろしくお願いします。

尚、本編文章部分は「黒田百年」さんの提供でおおくりします(=▽=)orz

🐾JIBAKU-SYSTEM 2008.12.30

はあー…せめて修正はモザイクにしたいなー
全部消されるからつまんないよー(つゝ)orz

「あ、葵……な、なんて格好してるんだ？」

「お帰り、皆本はん、えへへ〜どうや？
なかなかええ感じやん？」

「いや、そ、それよりも……
何で葵そんな格好してるんだ？」

「ん〜？ なんとなく？」

「なんとなくでそんな格好するな！
今すぐ着替えろ！」

「え〜ええやん、別に……って、んー
もしかしてウチに興味してるとか？」

「ぼっ！ バカ！ そんなわけあるか！」

「でも、皆本はんウチのことじっくり見てない？」
陰部が浮かび上がっている。

「そっ、そんなわけないだろ……」
そう言いつつも目を逸らさない。

ぷに

「ほんまに？ほんまに？」
クスクスと笑いながら

お尻を見せてつきだして見せる。
淫らに食い込んだ陰部。

「ほらほら、どない？色っぽくない？」

「あっ、ああ…じゃなくて！
そう言うことは辞めろ！」

「え～せっかく着たのに？
光一はんこそ
むらむらしてへん？」

「あっ、あのな…」
甘い言葉と
小悪魔的な動きで誘う。

「ほら、今やったら
レオタード着た美少女と
H出来るねんで？」

「ええやん、あの二人もおらへんし
今日は思い切りできるんやで？」

「そ、そう言っても…」

「ウチの前にも後にも、好きなだけ
はめられるって言うのになぁ…」

「……………」

「み、皆本はん…
なんか、目が据わってて
顔が怖いんやけど…」

「あ、葵…葵～！」
臨界点を迎えた皆本

「きゃあぁ！」



「あうっ！光一はん！あ！あ！あ！奥まできて…る！」

「んんくっ！ ああっふっふと…あいかわらず…お、おっき…」

「ウチのあそこが広がって…あっ！ あああ！」

「んっ！ こ、こすれてる！
うちなあそこ！ あああ！ あつい！ すご！」

「こ、コラ、乳首かむな！ もう少しやさしゅう……あっんっ！」



「んっ、くっ！ いい、葵のあそこはきついな……」
そう言って、腰を振った。
ずんずんと淫らな音が響く——

「そ…そうか？ き、気持ちええか？」

「ああっ、いいよ。熱くて、締め付けも……一番良い」
互いの言葉が広がった——

ゴホ

「あぁ、はっ! はぁ!
んくっ! も、もうで……でる」

「みっ、皆本はん、出るって中に?」

どろどろ

「とっ! とまらない! い、いくぞ?」

「あぁ、はっ! いいっ!
当たって、奥に当たって……
くっ! ええよ、だして! 中に、中にいい!」

「んっ! くふうう……」

びん

びん

ム

「はぁ、はぁ、はぁ……な、中に出てる……
うちの中に皆本はんの精子が……
んっ、相変わらず粘り着いて、濃いわぁ……」

「ほら、ウチのあそこ見て？」

「粘り着いてるのが見えるやろ？」
そう言って、陰部を広げてみせる。

白濁とした精液がドロリと
へばりつくようにして陰部から滴る。

「ほら、まだ、ウチは大丈夫やで…
光一はんの精子ドロドロしてるわ」

葵は誘うように自らの股を開いた。

「あっ、また元気になってきてるな
もう一回、する？」

「ウチは、ええよ……」

「……」

出したばかりだというのにいきり立つ怒張。
ピンピンと空を突くように上向きになっている。

「ほら、なあ？
皆本はんのあそこもまたぐんぐん大きくなって」

ひたひた



「えっ? なに、今度はお尻でって…
光一はんは、ほんまにアナルが好きやな?」

「う…嫌かな…」

くぱあ



「嫌やないけどな、そっちやと
妊娠の心配がないからやの?」

「さんざんうちの子宮に
精子出しといて今更やで?」

「そういう訳では…」



「まあ、ウチはええよ
そのかわり、今日はウチだけを見て…ウチだけを可愛がってな…」



葵の言葉に従って身を乗り出す。
そして、ゆっくりと菊座に指を当てこすった。

「あっ！ んっ！ ふうう……」
甘い吐息が広がってゆく。
眼前にある菊の花、そっと舌を当てる。

「んっ、あっ、お、お尻舐められてる……」

「ふっ！ ふぁ！ んんうっ！ くっ！」
ピチャピチャと淫らな音が広がりと同時に葵は身をくねらせた。

「はぁ、お、お尻の穴……熱い……んっ、ふうっ」ひぐひぐとまるで生物のように蠢く穴。
びたりとあてがう——



「あっ！ くっ！ くううう……、こ、も、もう少しゆっくり、くっ！」
グイグイと押し当てられ、ねじ込まれてゆく。

「あっ！ くうううっ！」
苦しそうに唇を噛みしめ、堪える。

「ふあっ！ ひ、ひろがる！」

「キツイか？」

「だ、だいじょうぶ……ああっ！ はぁあ！」むき出しの陰部。スジと広がった淫花——

「はっ！ はぐ！ か、硬くて……はぁあ！ ああっ！ あぁあぁあっ！」葵の声が、こだました。

「ね、ねじこんでる……いいっ！ くふうう！ う、ウチのおしり！ ウチのお尻の穴が広がって……」

「あっ！ くふうっ！ す、すごい…。根本から締め付けられる」

「ええよ！ はっ！ はああ！ もっと、もっとウチのお尻突いて！ おしり！ お尻の穴ああ！」
皆本の腰が前後するたびに、拡張され、まるで吸盤のように吸い付いて、離そうとしない。

「あっ！ ぐっ！ くふう！ ああつ、いいっ！ いい！ お尻…」抜けそうになる一瞬、外側に引っ張られる。腰のペースが速まった。

「お！ お尻が熱い！ うち！ ウチもうだめえ！」捜査権だと気だ、葵の肛門が収縮して――

「あっ！ ぐっ！ くふうう！」

「くっ！ で、でる！ 出すぞ！」

「はあっ！ はああ！ ええよ！ 出して出してえええ！」
どくっ！ どくうう！
葵の言葉に従うように放出される精子。



「はあ、あ、ウチのお尻の中でどくどく言うてる…」 「はあはあはあはあ……」

「あっ、ウチのお尻の穴から、光二はんの精子がたれてきてる…」
ぐったりとする皆本――「連続でするのはきつかったん？」
「あ、いや……」葵の言葉に正気に戻る皆本――

「レオタードぐしょぐしょやな…」 「あっ、うん」

「今度は、汚さんようにしてや？」 「うん…」
少し自己嫌悪気味に頷く皆本を見て、葵は笑いながら――

「あと、レオタードの代金ちゃんと払ってや？」



■ 駄文 ■

やはりアスカ様はいいなーと思いつつ穴埋めページ作成
再認識とゆーかいまだに魅力に呪縛されまくり…
夏ぐらいまでにエロ本作りたいなー
それにしても自分が描くとなんでか
むちむち爆乳中学生になってしまう…

ノーブラ・ノーパン
ある意味装備してないけど最強装備か!
乳首スケスケでスジくっきり (=ω=)

これは「尻」とゆー題目でどこぞで書いたイラストのラフ

黒田百年です

葵が一番可愛いと思うのです。

葵のパンツなら食べられます。

二番性格がいいのは葵だと思う。志穂がその次です。

あれ？ 薫は？

管理官良いよね～？ 管理官のパンツなら食べられます。

あれ？ 薫は？

メールアドレス

sidarezakura@hotmail.com

ブログアドレス

<http://kurodahyakunen.blog42.fc2.com/>**涼樹天晴**です。

ルニデンドルフ攻勢の英軍並にやばいです (´ω´)

どれぐらい日程的にやばいかどゆーと

で、結局レオンのギャラはいくらだー

と言えるぐらいやばいです。

無事に本が出ることを祈るだけですよ…

尚、本文の作成協力として黒田百年さんに文面をお願いしました。

ありー！ (´▽´)

🍄 JIBAKU-SYSTEM 2008.12.30

PREPARATION-A01.02

2008年12月30日発行

発行 自爆SYSTEM (涼樹天晴)

HP : <http://hwbb.gyao.ne.jp/kimidori-pb/>メール : kimidori@pb.highway.ne.jp

印刷所 トム出版 様

18歳以下の未成年への販売を禁止

無断転載・複写を禁止

